

日本製紙クレシア株式会社 3 工場へのオンサイト PPA サービスの提供が決定  
～山善との共同 PPA 事業「D a y Z p o w e r」～

2024 年 4 月 23 日  
Daigas エナジー株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原正隆、本社：大阪市中央区）の 100%子会社の Daigas エナジー株式会社（社長：福谷博善、本社：大阪市中央区、以下「Daigas エナジー」）は、株式会社山善（社長：岸田貢司、本社：大阪市西区、以下「山善」）と立ち上げた共同 PPA\*事業「D a y Z p o w e r（デイズパワー）」のサービス契約を日本製紙クレシア株式会社（社長：安永敦美、本社：東京都千代田区、以下「日本製紙クレシア」）と締結し、日本製紙クレシアの東京工場、興陽工場、京都工場の 3 工場へのオンサイト PPA サービスの提供が決定しました。

D a y Z p o w e r は、Daigas エナジーと山善の共同 PPA 事業であり、山善が同社のお客さまや取引先を中心に提案を行い、Daigas エナジーは太陽光発電システムのエンジニアリングや維持管理等を行います。

両社は日本製紙クレシアの東京工場に 320kW、興陽工場に 320kW、京都工場に 4,057kW 合計 4,697kW の太陽光発電システムを設置し、発電した再生可能エネルギー100%の電気を 20 年間にわたり日本製紙クレシアに供給・販売する予定です。年間 CO2 排出削減量は約 2,183 トンを見込んでいます。このたび京都工場に設置する太陽光発電システムは、D a y Z p o w e r として最大規模となります。

日本製紙クレシアでは、D a y Z p o w e r の第 1 号案件として、開成工場に 439kW の太陽光発電システムを設置し、2023 年 3 月よりサービス開始しています。

Daigas グループは、2021 年 1 月 25 日に「Daigas グループ カーボンニュートラルビジョン」を発表し、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた技術・サービス開発を行い、お客さまとともに地球規模での環境保全に寄与する取組みを推進しています。2023 年 3 月 9 日には「Daigas グループ エネルギートランジション 2030」を発表しました。Daigas グループの活動を通じた社会全体への CO2 削減貢献と、Daigas グループにおける国内サプライチェーンの CO2 排出量削減を目指したロードマップに基づき、着実な CO2 低減を遂行していきます。

※：「Power Purchase Agreement」の略で、発電者と電力消費者の間で締結する電力販売契約（太陽光発電 PPA モデル）

以上